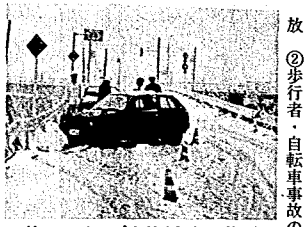
ゆく年くる年 ルールを守って安全運転

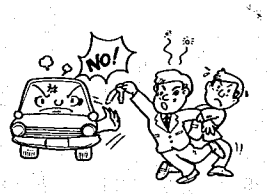
11日から交通事故防止運動

十二月十一日から来年一月十日までの一か月間、〝ゆく年くる年 ルールを守って安全運転〟をスローガンに「年末年始の交通事故防止運動」が実施されます。この運動の重点目標は、①飲酒運転の追放 ②歩行者・自転車事故の防止 ③スリップ事故の防止 ④踏切事故の防止です。

年末から年始にかけて、忘年会や新年会などお酒を飲む機会が何かと多くなります。例年この時期には、雪道のスリップ事故とともに、飲酒による事故が目立って多く発生しています。しかも、「これぐらいの酒量だったら」という油断が重大事故への引き金になっているのです。年末・年始を楽しく過ごすために、「飲んだら乗らない」「乗る時は飲まない」「乗る人には勧めない」の飲酒運転追放三ナイ運動を呼びかけあい、地域・家庭ぐるみで交通事故を防ぎましょう。



怖いスリップ事故(市内県道で)



見事に咲いた「人権の花」
＊――二小つくし学級

二小の「つくし学級」では、今年も「人権の花運動」が大きな成果をあげました。この「人権の花運動」は、「子どもたちが土にふれることによって、植物をかわいがるやさしい心をはぐくんでくれたら」という願いから、法務局と県人権養護委員協議会の呼びかけで、昭和五十八年度から始められているものです。

土づくり、種まき、水くれそして肥料くれなどと一年がかりで子どもたちが育てたかいあって、がっちりと大きく、見事な花が咲きました。担当の先生も、「この子たちも、将来、花好きな心やさしい人になってくれるでしょう」と願いをこめて語っていました。

生ごみ処理器
――冬の取扱い

生ごみ処理器は、冬の間も使用できますが、気温が低いため、夏のようには発酵せず、使用する期間も短くなります。

また、生ごみ処理器を使用する場合は、雪の重みでつぶれないように注意する必要があります。除雪をするときも十分気をつけてください。

※生ごみ処理器を使用しない場合は、きれいに洗って、雪の積もらないところにかたづけておいてください。

スポーツ大会結果のお知らせ

ボウリング大会

十一月八日

新津ミナミボウル

一般一部…①井上美津男(安田町) 一般二部…①吉岡智晃(車場四) 女子…①佐々木登美子(五泉市) ジュニア…①南雲俊通(秋葉一)

婦人バレーボール大会

十二月十五日 三小

Aクラス…①白鳩 Bクラス…①新津ひまわり

(以上一位のみ、敬称略)

新しい みやげ品・物産品 市民のアイデア紹介
(菓子類の部、その3)

まちの活性化に向けた新しいみやげ品や特産品を創り出すヒントになればと、市では、市民のみなさんからアイデアを募集しましたが、そのアイデアを毎号ご紹介しています。今回はその三回目です。

名称	発想、セールスポイントなど	考案者(敬称略)
羊かんの花シリーズ	花とみどりと石油の里にちなんで、チューリップ(3～5月)、アジサイ(6～8月)、菊(9～11月)、雪つばき(12～2月)とシリーズ化。( )内は販売期間	佐久間 宏(中沢町)
さつきゼリー	ゼリーの中に「さつき」の花型を入れた透明感のあるゼリー	楠田久美子(車場2)
なしのパイ	なしをパイ生地でつつんでまるめると出来上がり、アップルパイ同様においしい。	
さつきまんじゅう	さつきの産地にふさわしく、さつきの花のきれいな色をまんじゅうに。	伊藤 賢(六郷)
秋葉山の山菜だんご	秋葉山で取れた山菜をキンピラのように味噌または砂糖醤油で味付けし、笹だんごの中へ	坂口 浄(滝谷町)
にいつふるさと煎餅	大型せんべいの表面に新津の名所(平和塔、幸清水、白玉の滝など)の焼印を押したもの	
地元で生産している食・飲料品の良さを見直し、セット商品を開発してみては。例えば、清酒＋珍味＋お米、笹団子や三色団子＋お茶など		長谷川浩司(本町2)

お買物、ご用命は市内で

浴室からキッチンまで水まわりの増改築の専門店
水と住まいのふれ愛
システムショップ かねみや
INAX
本町2丁目 ☎24－1630

各種ポリエチレン製袋
カレンダー・包装資材・贈答品
やまだ綜合包装
山田 日出夫
新津市新金沢町5－11
TEL(23)1575番

幕末明治夜話 (140)

四十一年目の敵討(Ⅲ)

阿達義雄

(三七) 栄光に輝く帰還

十一月廿二日、幸太郎等の一行は、渡の波を出立し、仙台に向かったが、途中の駅々には多くの見物人が集まり、特に石巻は船着場で、諸国の人々の集まる所であったから、その群集も夥しかった。

利府宿に着いた時は夜に入ったので、家毎に提灯を出して、幸太郎等の一行を歓迎した。

十一月廿三日に仙台御城下着、今回も福田屋に逗留することになった。

廿四日九ツ時頃、御主役宮北殿を真先にして、前後両脇へ瞥固附添え、家来まで召連れ、惣人数三十六人行列正しく本陣(米川十右衛門方)に参り、仙台藩より御城使として伊佐羅子斐之助の御口上の後、久米幸太郎の此度の復讐に関係した人々へ仙台藩主からの有難い御下賜品が渡され、その外、御酒、御膳を下し置かれて、一同夜に入ってから宿へ帰った。

翌十一月廿六日旅の用意をし愈々廿七日に仙台を出立して、新発田への帰途についた。

梅渓寺の弟太助(湊村続根岸村に身代を持ち農業をしていた)は、幸太郎その外の者を新発田迄見送りたいと申し出たので、いろいろ辞退したが、梅渓寺から堅く申し付けられたとのことで納得しなかったが聞き入れず、附添って来り、仙台城下長町継所迄見送ってそこで別れた。

太助は越後村松迄へ外の用事もあるとのことで、新発田迄来たということである。

十一月廿七日、仙台を引き払い、十二月八日新発田へ到着すべきはずの処、福島から本宮の間は甚だしい悪道で、人馬共に難渋して、そのためにまた予定が一日遅れてしまった。

だが、これ以上の逗留もあるまいと考え、九日までに到着したいと、津川駅から先使を以て申し上げて置いた処、諏訪峠へさしかかり吹雪が強く、ここで又一日の遅滞となり、漸く十二月十日着になったので、出発前に申し渡されていた通り、幸太郎、盛次郎、留六郎等は同族の板倉彦右衛門へ引渡し、貞次、戸矢右衛門は私(復命書の筆者たる宮北)が同道して登城の上、今回の顚末を申し上げたのであった。

(三八) 新発田藩主より褒賞

『東北の秘史・逸話』中の久米復仇史談の大団円の所に、祝田浜に駈けつけた久米幸太郎以下の者が新発田藩から褒賞された結果について、幸太郎は「……出格之訳を以て御知行三百石下し置かる」とあり、弟盛次郎は「百石」、板倉留六郎も「百石」、板倉貞治は「七十石の加増」があったと記されている。

然るに、私が『久米家復讐一件』に収められている新発田藩の公文書によって調べた処によると、

久米幸太郎…知行二百五十石
久米盛次郎…五人扶持十五石
久米留六郎…四人扶持十二石
板倉貞次……五人扶持十五石
渡辺戸矢右衛門…三人扶持九石

右のようであり、『新発田市史』下巻の「久米幸太郎」の条にも右のように記されているから、『東北の秘史・逸話』の説は誤りと考えられる。

(三九) 瓦版石巻敵討くどき

久米幸太郎が祝田又は渡の波に泊っていたのは、十月九日から十一月廿一日迄の四十三日間であったが、この間に既に江戸(ともすると石巻地方にも)で「石巻仇討くどき」が語られたもののようである。

石巻の郷土史家佐藤露江氏の書いた『万石湾頭の仇討』(昭和25)の最後を見ると、「石巻仇討くどき」と「いわいだ村のかたきうち」の上下二巻の瓦版が紹介されている。その冒頭は、

「花にサエー、こがね花咲く、みちのくや、金華山より、その浜続き、音に聞えし北上川の、落ちて流るる牡鹿の郡、石巻として繁華の港

五里余はなれた祝田村に、さても珍らし仇討話」

という語り出しで、最後の殺陣の場の表現は、

「久米の幸太郎声張りあげて、四十一年以前のことよ、父の弥五兵衛殺害いたし、国をたちのく滝沢休右、しょうぶ〳〵と詰めかけよれば、聞いて驚く滝沢休右、さては久米屋のせがれであるか、是非に及ばぬもうこれまでと、けさをぬぎ捨て、用意の短刀、火花散らして戦いけるが、遂に幸太郎に切り伏せられて、ひるむところをただ一打ちに、

打ては撃くや、こがねの花の、咲いた武運の仇討ばなし、ヤンレー」

となっている。

なお、これについては、既に『新津郷土誌』(第十二号)の「小説的久米復仇史談の源流」の中に詳説したところである。(新潟大学名誉教授)

なお、「四十一年目の敵討」は今回をもって終了します。次回からは、幕末期の会津藩の女性を話題とした「斗南女人往来」を掲載します。

十一月十日、燕市で青少年健全育成県民大会が開催され、青少年功労者として稲垣清一郎さん(七日町)に功労表彰

十一月十日、燕市で青少年健全育成県民大会が開催され、青少年功労者として稲垣清一郎さん(七日町)が表彰されました。青少年の社会連帯意識の希薄化や非行の増加など難しい問題をかかえる社会情勢にあって、市教育委員に就任のかたわら、地域ぐるみの非行防止対策など青少年の健全育成に熱心に取り組んできた功労が高く評価されました。

お買物、ご用命は市内で

第27回 輝きのファンタジー 商店連売出し参加店
宝石展示会
11月28日～12月3日
(時間AM9:00～PM8:00)
年に一度の宝石まつり
皆様お揃いでお出かけ下さい。
お買得品がイッパイ。予約も承ります。
――ダイヤモンド・ショップ――
会場 野本時計店
本町3丁目 TEL 22－0070(代)